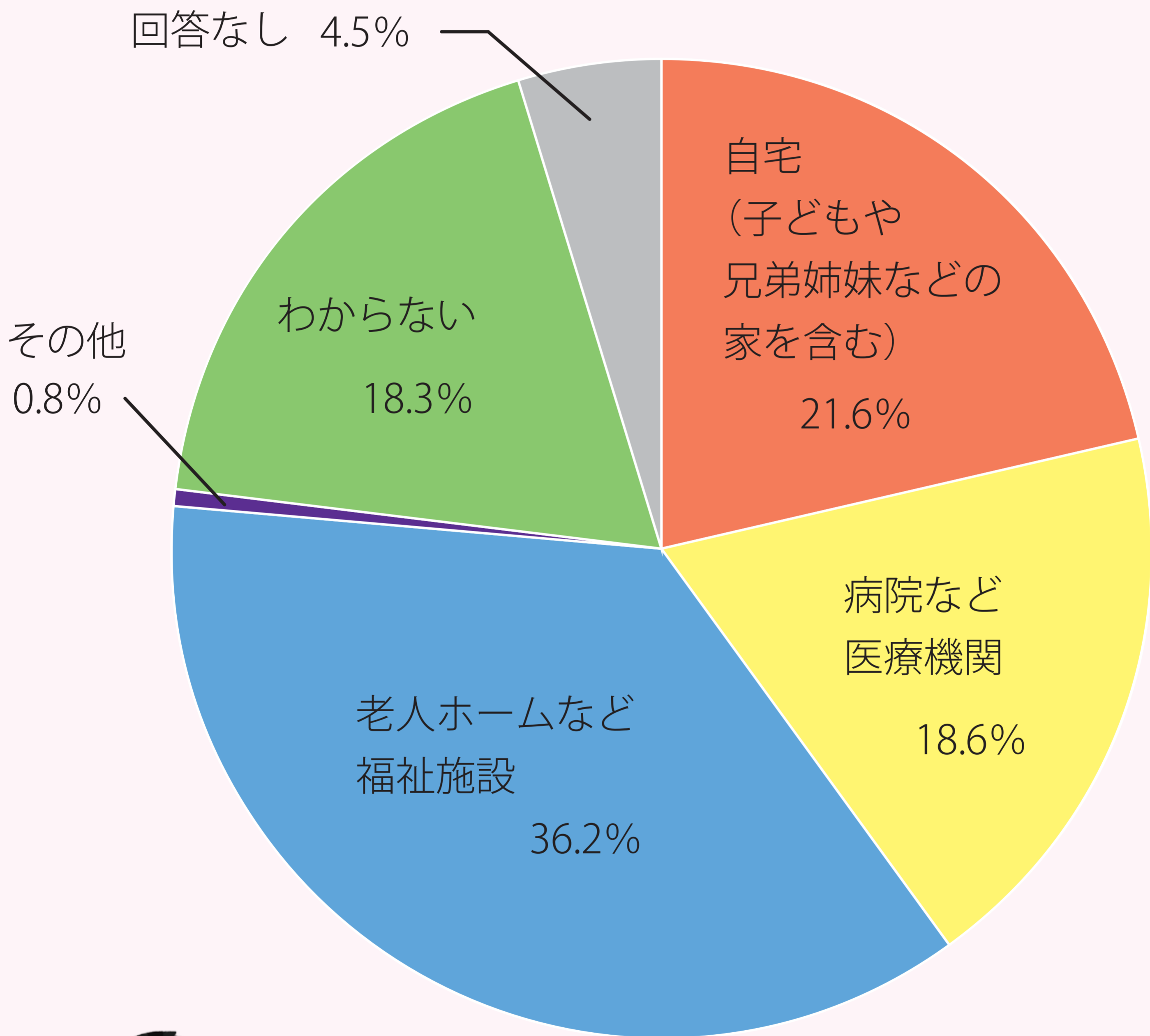


データでみる “人生の最終段階”

岡山県民1,344人に聞きました。

「あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態になったとき、
どこで介護を受けたいですか？」 (平成29年6月「県民満足度調査」)

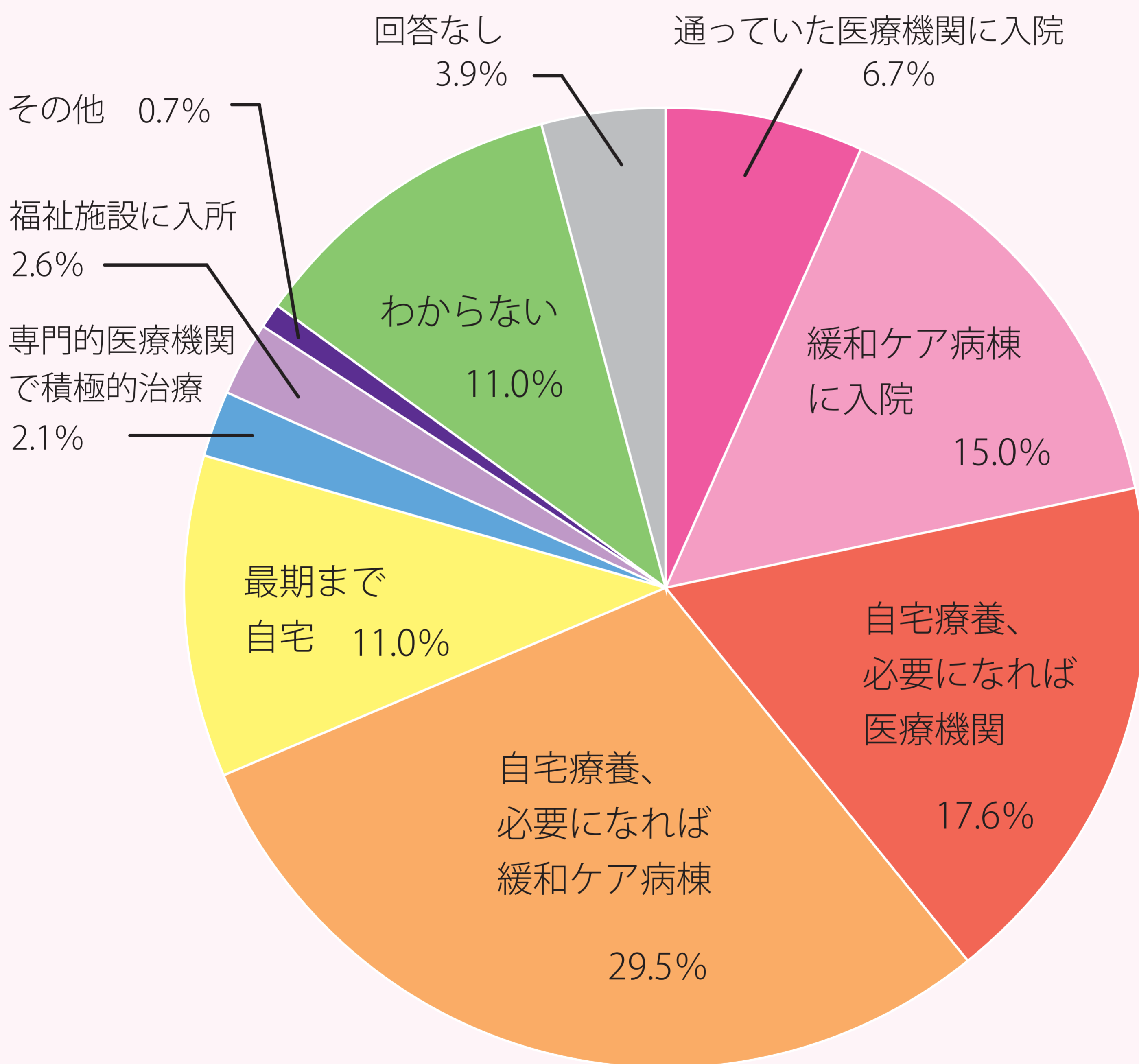


あなたなら、どこで介護を受けたいですか？

データでみる “人生の最終段階”

岡山県民1,344人に聞きました。

「万が一、あなたの余命が残り少ない（6ヶ月あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、療養生活をどこで送りたいですか？」（平成29年6月「県民満足度調査」）



あなたなら、人生の最終段階になる時間をどこで過ごしたいですか？

データでみる “人生の最終段階”

全国の統計調査の結果から

平成28年(1月～12月の間)に亡くなられた岡山県民は約2万2千人でした。亡くなられた**原因別**の割合は次のとおりです。 (厚生労働省「平成28年人口動態統計」)

敗血症 0.8%

糖尿病 0.9%

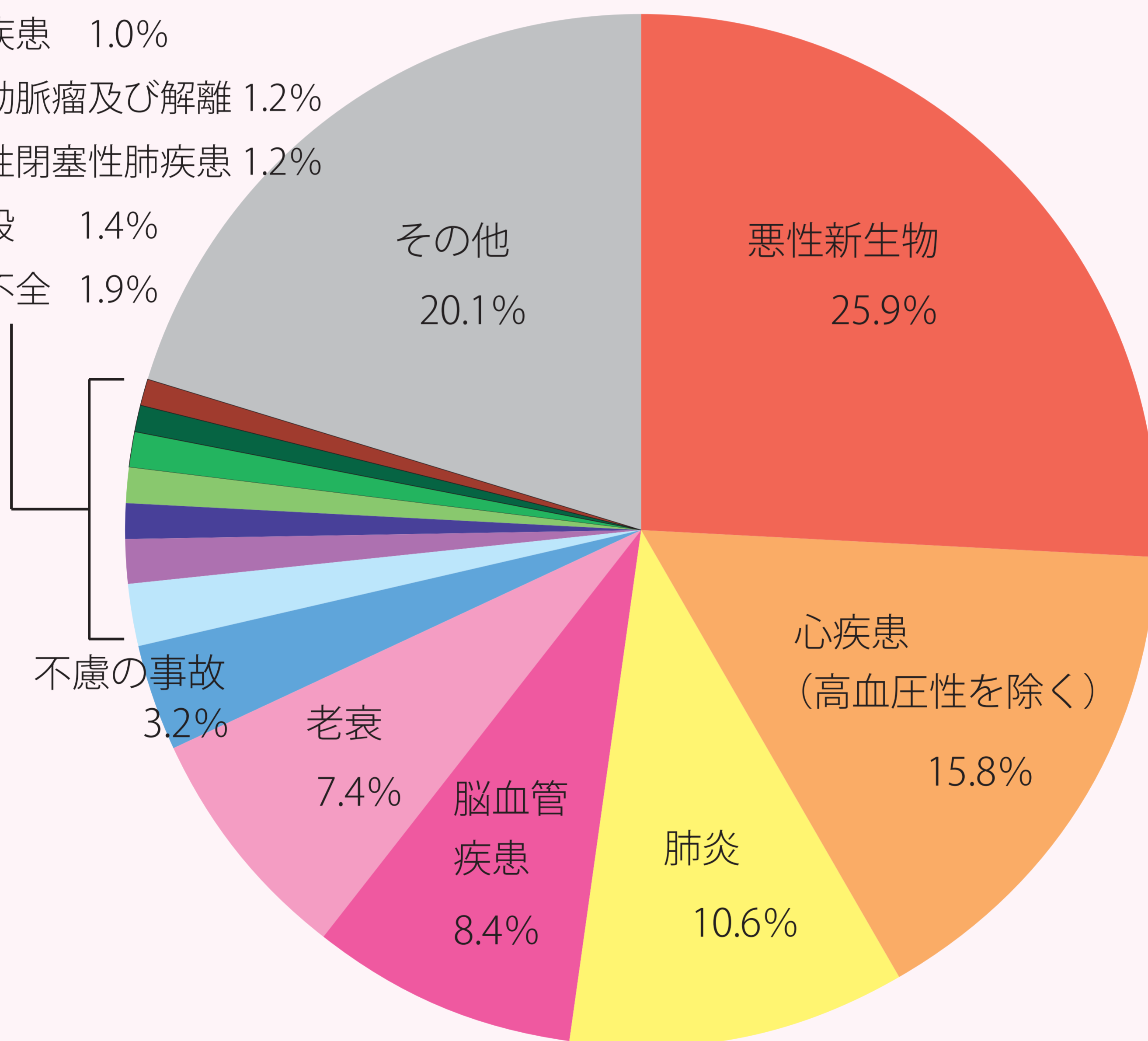
肝疾患 1.0%

大動脈瘤及び解離 1.2%

慢性閉塞性肺疾患 1.2%

自殺 1.4%

腎不全 1.9%

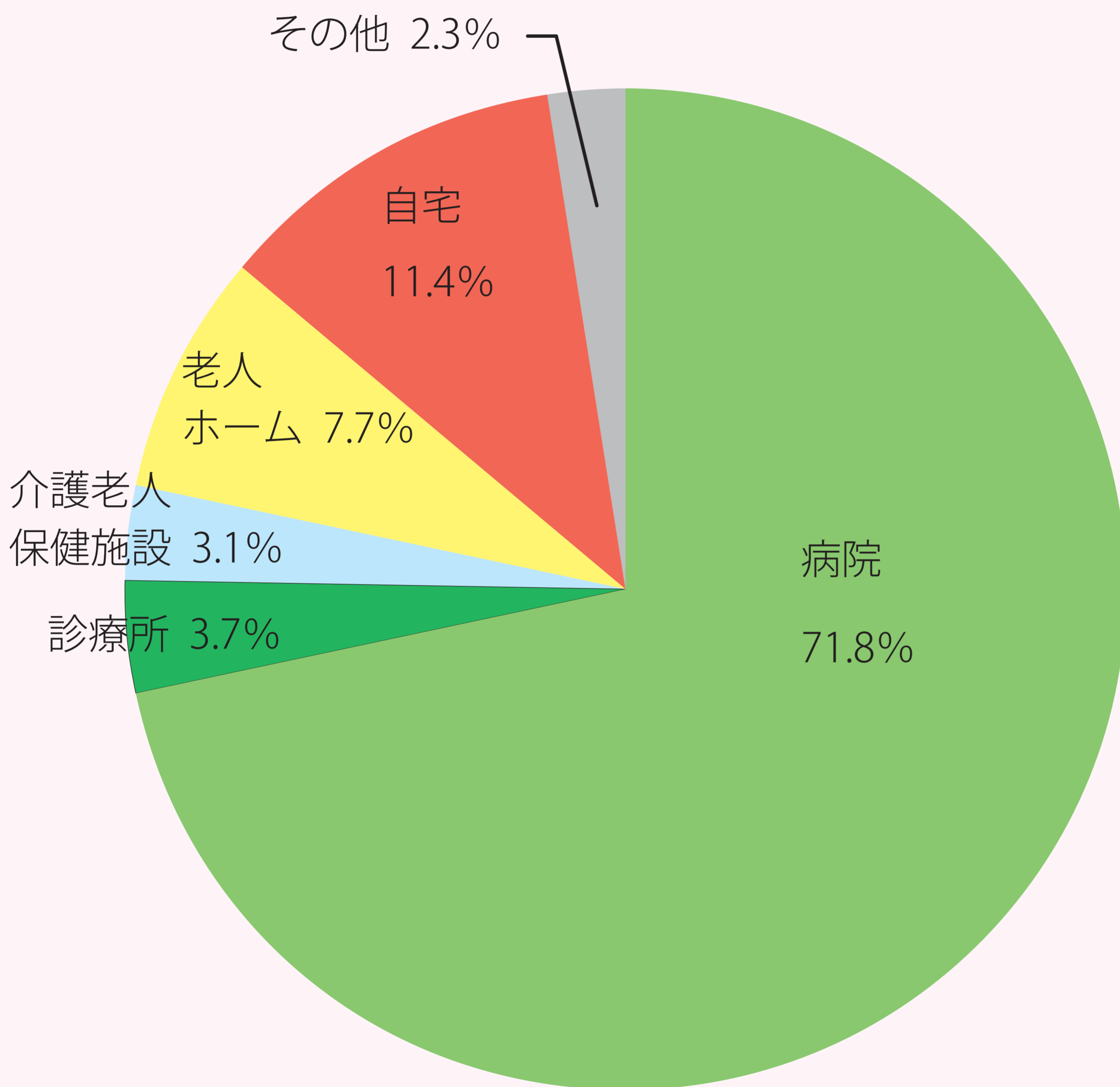


約40年前まで、日本人の死因第1位は脳血管疾患(脳卒中)でした。今は、人口の高齢化などにより、悪性新生物(がん)や心疾患、肺炎で亡くなる方が増えています。

データでみる “人生の最終段階”

全国の統計調査の結果から

平成28年(1月～12月の間)に亡くなられた岡山県民は約2万2千人でした。
亡くなられた**場所別**の割合は次のとおりです。 (厚生労働省「平成28年人口動態統計」)



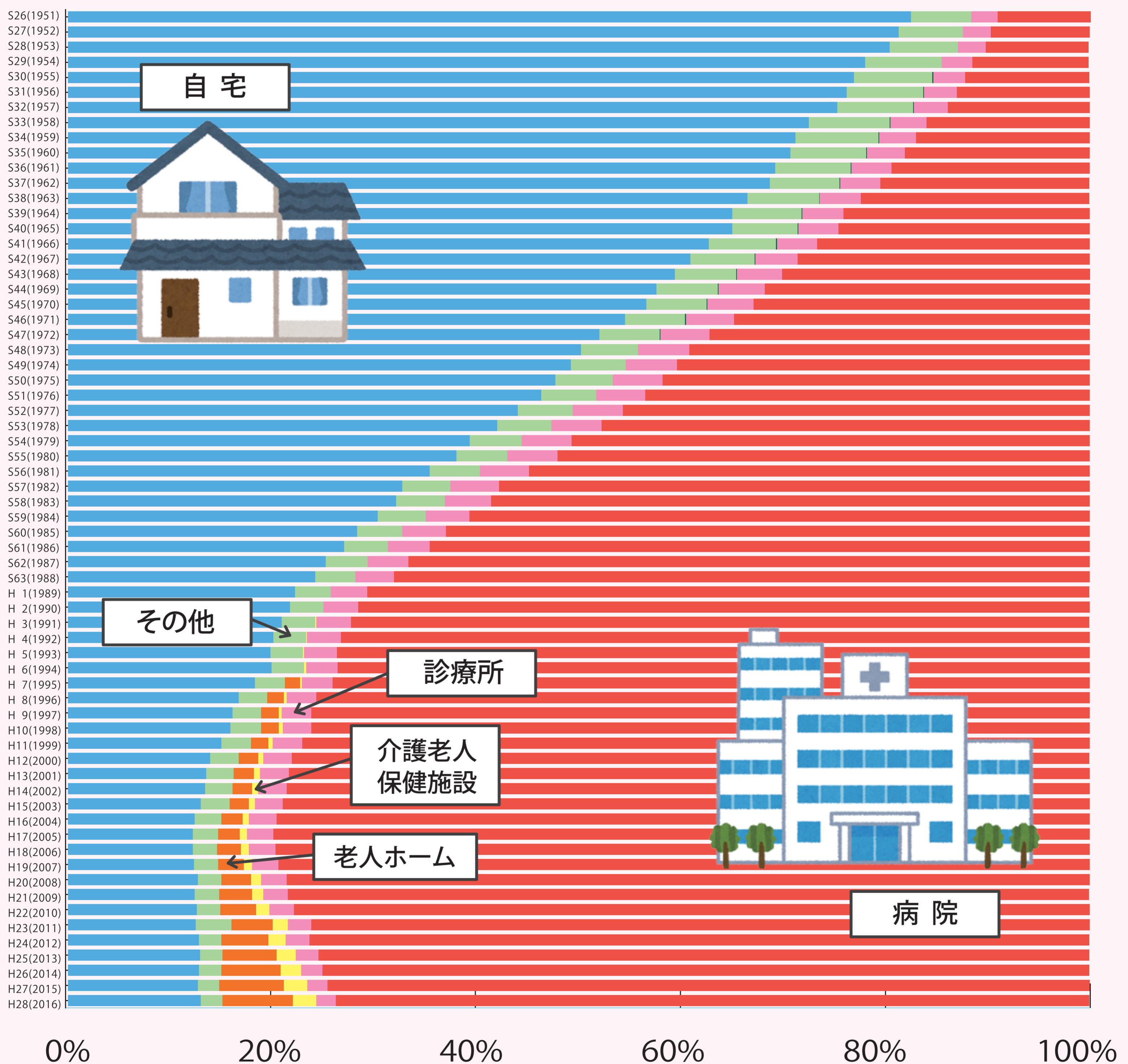
県民アンケートの結果では、人生の最終段階を「自宅で過ごしたい」と答えた人が約6割いましたが、実際に自宅で最期を迎えられた人の割合は約1割です。

データでみる “人生の最終段階”

全国の統計調査の結果から

昭和26年(1951年)から平成28年(2016年)までの、国民の死亡場所の推移を表したグラフです。

(厚生労働省「平成28年人口動態統計」)



60~70年前は、約8割の人が自宅で亡くなっていました。今は、約7割の人が病院で亡くなっています。